



## 【取組内容】

- 「自分をつくり私たちのまちや学校をみんなで作り上げていく」という合言葉（平間プライド）を学校運営のマネジメントコンセプトに掲げ、**子ども発案による取組の実践、教職員による実践**など、**全ての教育活動をSDGsの視点から捉えて推進。**
- 多摩川や地元商店街などの地域資源を最大限に活用**して、子どもたちが主体的に考えて行動する取組を重視し、保護者・地域・企業・行政・NPO等の**ステークホルダーを結集**してSDGsを学び、実践する「**平間SDGsフェス**」等、**地域を巻き込んだ様々な事業**を展開。
- 子どもたちがSDGsについて学んだことや考えたことを、家族や町の人に伝え、地域と共にいかに取り組んでいくかに力を入れており、**多くのステークホルダーを巻き込んだ取組を川崎市内外に発信。**

## SDGs実施指針における実施原則（本アワード評価基準）

普遍性：	学校や商店街など、地域を巻き込んだ形でのSDGs達成に向けた取組は、国内外において広く応用可能である。
包摂性：	多様性の視点から、全ての人がありのままに受け入れられ、自主・自立し共生・協働するための教育を実施。
参画型：	子どもが主体的に考えて行動する取組を重視し、その行動が保護者や地域、企業、NPO等を巻き込むことで活動が広がっている。
統合性：	教科横断的な学習を通じて、子どもが経済・社会・環境の課題に統合的な視点からどのようにアプローチするか考えることを推進。
透明性と説明責任：	授業や研修会を他校や保護者、地域、企業、NPO等に広く公開。保護者・地域や児童アンケートを実施し、学校評価として公表。

